

# 15 緑と暮らす ①

# インドアグリーン 冬越しのテクニク!



緑の鉢植えをひとつプラスするだけで空間に表情がついて、みずみずしく生き生きとすることができますね。

インドアグリーンのレイアウトは、インテリアの「仕上げ」ともいえるもの。

ただ、「グリーンを飾りたいけれど、すぐに枯らしてしまっ」「管理が面倒……」という声も多く、とくに乾燥しがちな季節に枯らしてしまっ人が少なくありません。

そこで、冬でも上手にグリーンを保つテクニクをご紹介します!

## グリーンが目利きになる!

グリーンがたくさん置いてあるインテリアに憧れるけれど、何度チャレンジしても枯らしてしまう。私って、もしかして「枯らし屋」さんかしら……そんなお悩みを持っている人って、意外と多いのです。

どうせうまく育てられないからグリーンは置かない!となりがちですが、じつはお手入れや育て方以前に原因があったりします。購入時に、あまり丈夫でないものを選んでしまっているケースが多いのです。

良い株をちゃんと目利きして選べば、その後の成長もスムーズなのでお手入れもラクになります。

左にご紹介した4つのチェックポイントの

**check point 1**

- 新葉が中心から次々と出ている
- 葉の色ツヤが良い
- ✕ 新葉が出ていない
- ✕ 葉が変色している、ツヤがない

**check point 2**

- 葉がつまっている
- 葉が勢い良く立っている
- ✕ 葉に力がない
- ✕ 葉のつまり方が、間延びしている

**check point 3**

- 葉が生きてきている
- 下葉もしっかりしている
- ✕ 下葉が落ちている
- ✕ 下葉が垂れている

**check point 4**

- 根元がしっかりと安定している
- ✕ 根元が安定せず、ふらついている



他に、「枯れたり、黄色く変色した葉がないこと」「害虫やその排泄物がついていないこと」

## 今、買うなら、寒さに強い品種を選んで

インドアグリーンの多くは熱帯や亜熱帯が原産の植物ですから、そもそも寒さが苦手です。そのうえ日本の冬の室内は寒暖の差が激しく、暖房による乾燥も大敵。グリーン上手な人でも枯らしてしまうことがあるほどです。

今、グリーンを買うなら、耐寒性のある品種がおすすめです。クリスマスやお正月シーズンを前に、あまり手を掛けなくて済むグリーンを選ぶのもテクニクのひとつです。

「病気のあとがないこと」も確認しましょう。まずは買う時に選ぶ!が、グリーン上手になるコツです。



葉が横向きに広がるアスパラガス、スプレーグリー「」。繊細なシルエットを持ちながら、日本の冬でも元気に乗り越えてくれる品種の代表格です。

